●民生費

問　保育士の処遇改善に関する本市の諸施策について伺います。

答　保育士修学資金貸付事業及び保育士奨学金返済支援事業に加え、外国人の保護者との会話に用いる翻訳や午睡チェックにおける事故防止等のICTシステム導入に対する補助を実施しました。業務の効率化による保育環境の改善を図るとともに、保育の質の向上につなげていきたいと考えます。

問　コロナ禍におけるファミリーサポート事業の運営状況について伺います。

答　強い使命感を持って育児の援助に従事したことに対する支援として、まかせて会員へ慰労金を支給しました。今後も会員同士の交流を深め、共助による意識の醸成に努めていきたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

・こども食堂及びフードバンクとの連携による支援対象児童等見守り強化事業の実施提案について

・生活保護受給前のセーフティネットとしての住居確保給付金、緊急小口資金等、融資制度の活用による効果について

・子育て世代サービス拡充のため日曜日に児童館を開設することについて

●衛生費

問　各種けんしんの受診率向上につながる効果的な受診勧奨方法について伺います。

答　現在、LINE等から新型コロナウイルスワクチン接種の予約を受け付けており、高齢者の間でも浸透してきていることから、幅広い年齢層にLINEを通じたけんしん等の情報発信に努めたいと考えます。また、今後、受診券の送付に当たっては、ナッジの活用も視野に入れ、開封したくなるような表記の変更について検討したいと考えています。

問　ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みについて伺います。

答　太陽光発電システム導入報奨金及び省エネルギー機器設置費補助金制度に、新たに蓄電池導入報奨金をメニューに加え、広報やホームページと併せ、ハウスメーカーや設置業者に周知し、脱炭素社会の実現を推し進めたいと考えています。なお、太陽光発電システムや蓄電池の設置については、多額の初期費用が必要となることから、他市の施策や申請状況等によっては、今後、報奨金等の増額を検討したいと考えています。

■その他主な質疑、要望等

・無縁墓地化対策について

・斎場での新型コロナウイルス対策の制限緩和について

・クビアカツヤカミキリ防除対策拡充について

●労働費

問　おおたなでしこ未来塾受講後のフォローアップについて伺います。

答　卒業生と受講生とのネットワークを構築し、なでしこマルシェの開催やインターネットでの販売の推進など、起業へのチャレンジを後押ししていきたいと考えます。

問　キャリア教育支援事業の今後の展開について伺います。

答　昨年度は支援事業としてワーク・ライフインターンプログラムを実施しましたが、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となりました。人と人とがじかに触れ合い、社会人の日常というリアルな体験をすることが難しくなっているため、今後はコロナ禍に対応した新たなキャリア教育支援を検討したいと考えています。

■主な質疑、要望等

・浜町勤労会館の存続に向けた考え方について

●農林水産業費

問　道の駅おおたを運営することに対する考え方について伺います。

答　過去には運営に対する意見の相違から離れてしまった出荷者がいましたが、現在は商品の搬入時間や配置のレイアウト等、出荷者を第一に考えることで、出荷者は増加しており、少しずつ信頼関係を構築することができています。また、指定管理者も施設の利用に対して制限がある中、売り上げアップに向けた新たな取り組みを進めるなど、新鮮な市内産の野菜や商品の提供を通じて、地場産品のPR及び道の駅おおたのイメージアップにつなげたいと考えます。

問　地産地消の推進について伺います。

答　本市は群馬県の重点8品目に指定された野菜が多く生産されている地域であることから、市民が地場産品の魅力に気付くきっかけとして、おおたマルシェ等において、市内産の野菜等の販売や無料配布を行い、地産地消の推進につなげていきたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

・有害鳥獣対策について

・豚熱対策について

・ふれあい農園内の安全対策について

●商工費

問　キャッシュレス決済推進のための取り組みについて伺います。

答　昨年度実施したキャッシュレスポイント還元事業では、総利用数は4万回を超え、市内経済への波及効果と同時にキャッシュレス決済の推進に寄与することができたと考えます。今後は、金券のデジタル化を実施し、導入の際にはプレミアムを付与することで市民の注目を集め、キャッシュレス決済の推進につなげていきたいと考えています。なお、高齢者等キャッシュレス決済が不慣れな人に対しては、さまざまな広報媒体を通じてアプリの操作方法を周知するとともに、窓口や電話等で親切丁寧な対応を行いたいと考えます。

問　まちの持続的な発展の基盤をなす人材育成の取り組みについて伺います。

答　将来を担う子どもたちに対して、起業や就労に必要となる能力を習得する試みとして、アントレプレナーアカデミーやプログラミング普及講座等を開催し、意欲的な子どもたちが数多く参加しています。人材育成はすぐに結果が出るものではありませんが、将来、本市において起業や就労する人材が出てくることを期待し、本市独自の人材育成事業を継続して実施していきたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

・各種補助金のあり方について

・プレミアム金券の発行による経済効果について

●土木費

問　市街化調整区域における集落の維持に向けた考え方について伺います。

答　基幹的な集落を中心に生活の利便性を再構築し、生活インフラとして公共交通網を充実させることが必要です。都市計画マスタープランを基本とし、群馬県が作成している人口減少下における土地利用ガイドラインとの整合性を図りながら、地域コミュニティーの維持に取り組むべき手法を研究し、次回のマスタープランに反映できるよう進めていきたいと考えます。

問　公共施設の維持管理について伺います。

答　各施設の保全計画に基づき、老朽化した外壁や屋根の改修、空調設備や電気照明設備の更新等の工事監理を行っています。今後も、各施設と連携し予防保全に努め、公共施設維持管理マニュアルの活用を周知することで、施設の長寿命化を図っていきたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

・花いっぱい運動の推進について

・幹線道路整備事業の進め方について

・市街地再開発事業の検証について

・街路灯の一元管理について

●消防費

問　消防団員個人を対象とした出動手当の新設への考え方について伺います。

答　現在消防団と消防本部が共同して団員の処遇改善等を検討するプロジェクトチームを立ち上げ、消防団組織のあり方や報酬等について研究を進めています。団員の処遇は活動実績に応じて報われるべきと考えられることから、プロジェクトチームの議論を踏まえ、処遇改善に努めていきたいと考えます。

問　災害に強いまちづくりの構築に向けた自主防災組織の活性化について伺います。

答　市内全15地区に自主防災組織が存在していますが、コロナ禍の影響等により活動が停滞しているケースが見受けられます。市民にとってより身近な行政区ごとに、地域一丸となって活動できる自主防災組織の体制整備を目指し、区長へのアンケート調査により行政区の実態を把握する等、それぞれの自主防災組織の活動を支援していきたいと考えます。

■その他主な質疑、要望等

・男性消防職員の育児休業取得促進に向けた取り組みについて

・消防水利の整備状況について

・コロナ禍において救急活動に当たる消防職員の惨事ストレス対策について

●教育費

問　教育現場に導入されたタブレット端末の活用状況と今後の目標について伺います。

答　アプリケーション機能の理解が進んだことにより、各教科における単なる調べ学習や個別学習だけでなく、討論や発表といった場面での活用が見受けられます。今後はICT活用実践事例を参考とした教科横断的な運用により、より一層の学力向上につなげたいと考えます。

問　子どもたちにより良い教育、指導が行える体制づくりについて伺います。

答　限られた人材を有効に活用するため、教員への効果的な研修機会の確保に努めています。また、各種教科指導員制度の導入により、それぞれの教科等指導のほか生徒指導、特別支援教育、外国人児童・生徒教育の分野において指導に長けた中堅、ベテラン教員が若手職員等に指導・助言を行うことで、教員の資質向上を図る環境が整備されています。

■その他主な質疑、要望等

・通学路の安全確保に関する対応状況について

・各種検定料助成金の拡充に向けた考え方について

・学校と部活動指導員との連携体制構築の必要性について

●基金の運用状況に関する調書

問　財政調整基金を取り崩し、モバイルアプリケーション等を使った納税者への還元を実施することについて、所見を伺います。

答　電子通貨の推進や事務の効率化を考えると非常に有効な手段です。昨今の円安や国債価格の下落等による影響、また高齢化による社会保障費の増大等が見込まれるため、当初予算編成におけるバランスや費用対効果等を考慮しながら検討していきたいと考えます。

特別会計
公営企業会計

●八王子山墓園特別会計

■主な質疑、要望等

・墓地管理料滞納者における墓地使用権について

・少子高齢化や核家族化の加速による無縁墓地化対策について

（次ページへ続く）